SOS2 を設置するには

ダウンロード

SOS2 は MissingLink のサイトよりダウンロードできます。利用規約をよく読んだ上でダウンロードしてください。

開発環境

■エディタ

SOS2 を設置するためにはソースファイルをエディタで開き、修正する必要があります。
Windows の場合、デフォルトのメモ帳でもかまいませんが、括弧の対応などが一目で分かるものを使うといいでしょう。秀丸（シェアウエア）やサクラエディタ（フリーウェア）などのエディタを使うことをお勧めします。

■ ActivePerl

WIndows 上で SOS2 の動作確認を行うために欠かせないソフトウェア。
ローカル環境にて動作確認されていない SOS2 を直接ネット上のサーバーにアップロードして動作確認を行うとサーバー側に負荷がかかり、他の利用者に迷惑をかけることにもなりかねません。
まずはご自身のパソコンに ActivePerl をインストールし､その上で SOS2 を動作させて動作確認を行うことをお勧めします。
もし､ご自身で Perl が動くサーバーをイントラネット内に設置しておられる場合は ActivePerl は不要です。要はローカルの環境で動作確認ができれば OK です。

設置

■ FTP ソフト

ローカル環境にて動作確認ができたら､いよいよ FTP ソフトにて設置するウェブサーバーにアップロードします。
FTP ソフトはどのソフトでもかまいませんが、パーミッションを変更できる機能がついているものを使いましょう。(たいていのソフトにはついているような気もします（＾＾；))

■ウェブサーバー

SOS2 を設置しようとするウェブサーバーを忘れてはいけませんね。
サーバーによって機能制限やファイルのアップロード場所が違いますので、ソースを編集する前に、サーバーについては確認しておくことをお勧めします。

■ PerlChecker

開発環境に含めてもいいかもしれません。ActivePerl 上でも動かしてチェックして下さい。
サーバー上で、Perl 文法のチェックを行ってくれるスクリプトです。インターネットサーバーエラーを起こさないためにも、Perl 文法は必ずチェックしてみて下さい。
いろいろなタイプのものがネット上に転がっていますので、検索して試してみてください。

不具合があったら？

・サーバーの Perl のパスを確認。また、インストールされている Perl のバージョンを確認。

Perl モジュールに対応していないサーバーの場合は Perl モジュールは使えません。
・サーバーの説明を確認。Nifty などはパスの表記方法が違う場合がありますので、変更が必要です。
・パーミッションの確認。サーバーによってはフォルダのパーミッションが 777 だと動かないなどがありえます。
・不具合が発生する前に変更した場所を元に戻して試すなど、トライ＆トライで試してみて下さい。
・どうしても動かない場合は、イチからやり直してみて下さい。デフォルトのまま＆MissingLink にある説明の通り変更してやれば、たいていのサーバーでは動きます。
・SOSII Check Script を使い、本体の設定が正しいかどうか調べてみましょう。

いきなり消えたら？

※ SOS2 は高負荷のかかる CGI であることを忘れないで下さい。無料レンタルサーバーの場合は設置そのものが不許可になっている場合があります。
infoseek では設置はできるものの、後日削除されていることがほとんどのようです。
努力して動くようになったのにいきなり消されるのは悔しいものです。設置の前に設置可能かどうか、情報を探してみて下さい。
※参考資料　設置可否情報（情報を集めています）

このページのコメント